

第2学年 国語科学習指導案

日時：令和6年 9月25日（水）

学級：2年1組19名

会場：2-1教室

指導者：尾久第六小学校 2年担任

自分の考えをもち、主体的・対話的に学びを深める児童の育成
～国語科「読むこと(説明的文章)」を通して～

1. 単元名 「とび出せ!! じゅういのおしごとびっくり!カード」を作ろう

～読んで考えたことを話そう～

教材名「どうぶつ園のじゅうい」

2. 単元の目標

知識及び技能	・文の中における主語と述語の関係に気づくことができる。((1)カ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。((2)ア)
思考力、判断力、表現力等	・時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。((1)ア) ・文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。((1)オ)
学びに向かう力、人間性等	・説明的な文章を読んで、考えたことを話すことができる。

3. 単元の評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等	ウ 学びに向かう力、人間性等
① 文の中における主語と述語の関係に気付いている。((1)カ) ② 共通、相違、事柄の順序など情報と情報の関係について理解している。((2)ア)	① 「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。((1)ア) ② 「読むこと」において文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもっている。((1)オ)	① 教材文を読んで問いを交流し、見通しをもって学習を進めていこうとしている。 ② 単元の学習目標を理解し、達成に向けて学習計画を立てている。 ③ 進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、これまでの学習を生かして、文章を読んで考えたことを友達に話そうとしている。

4. 児童の実態

本学級は、男子10人、女子9人(うち1名、9月より転入)、計19人の比較的少人数の学級である。読書が好きな児童が多く、図書の時間はもちろん、休み時間にも読書を楽しんでいる児童が見られる。今年の4月に行われた区の学力調査では、国語の「物語を読み取る」という内容の問題で、77.8%、「説明文を読み取る」という内容の問題では、61.1%の児童が目標値を超えている。これらのことから、説明文よりも、普段からよく親しんでいる物語文の方が、児童にとって読みやすく、内容も理解しやすいものとなっていると考えられる。また、「文章を書く」という問題では、18人中、目標値を上回っているのが8人(全体の44.4%)で、目標値を超えなかった児童の10人のうち7人(全体の38.9%)が、正答率0%であり、時間がなくて解答しきれなかったことや、書くこと自体に抵抗を感じていることが考えられる。さらには、「情報と情報の関係について理解し、相手に伝わるように、経験したことに基づいて話す力(書く力)」に関する問題については、学級全体の50%が誤回答、29.7%が無回答であった。このことから、学級の半分以上の児童が書くことに苦手意識を抱いていると考えられる。

以上のことから、単元計画を工夫し、児童が自分の考えを「書きたい」と思えるような工夫をすることで、主体的・対話的に学びを深めていけるようにしたい。

5. 単元について

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)国語編 第1学年及び第2学年に記載されている次のことを扱っている。

【知識及び技能】

- (1) カ 文の中における主語と述語との関係に気付くこと。
- (2) ア 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関連について理解すること。

【思考力・判断力・表現力等】C 読むこと

- (1) ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。
- オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。

動物は、児童の人気が高く、その動物に関わる職業である獣医は、児童が関心の抱きやすい職業の一つである。本教材では、その仕事内容が児童に理解しやすい「わたし」の視点で語られている。また、児童の好きな動物園のイラスト、動物たちの写真が随所に登場するので、興味をもって読み進めていくことが期待できる。

本教材は、動物園の獣医が行う日常的なルーティンワークと、突発的な仕事やそのわけが、筆者である「わたし」の一人称によって説明されている。児童にも、一人一人、日常的な活動とその日固有の活動とがある。それらを重ねたり比べたりして読み深めるとともに、文章の内容に対する考えをもち、言語化できるようにしたい。

6. 研究主題に迫るための手立て

(1) 確かな知識・技能の習得

・文章の構成を把握する学習活動の設定

従来の単元計画に加え、文章構成を把握する時間を第1時に設定する。段落ごとにまとまった文章をバラバラにしておき、時を表す言葉に注目しながら正しい順序に並べ替えることにより、説明的な文章における文章の構成や順序についての理解をより確かなものにできるようにする。

・文章表現に着目させた指導の工夫

本教材は、時間的な順序を表す言葉やわけを表す言葉を用いながら筆者の一日の仕事が記されている。わけを表す表現については、「なぜかという」とや「だから」といった文頭の表現、「からです。」や「のです。」といった語尾の表現がある。本単元ではそれらの表現に着目させ、文章を読み進める際のキーワードとして丁寧に扱っていくことで説明的文章をより正確に読み取っていけるようにする。

(2) 単元構成の工夫

・教材との出会いの工夫

本学級の児童は、9月末に遠足で上野動物園に行くことになっている。そこで、第1時の前段階で、遠足で上野動物園へ行くことを伝え、動物園の中はどのような様子なのか、どんな仕事があるのかを予想し、話し合わせ、あまり身近に関わったことがないと予想される獣医という仕事のイメージをもたせられるようにする。また、第1時で教師が作成した「とびだせ!!じゅういのおしごとびっくり!カード」を提示することで、児童が具体的なゴールをイメージし、「作ってみたい」と思えるようにして、児童の「書きたい」という意欲を高めていけるようにする。

・ワークシートの工夫

本単元では、ワークシートを用いて学習に取り組む。教材文を読み深める段階では、整理しやすい枠を用いて『どうぶつ園のじゅうい』での筆者の仕事やそのわけや工夫を整理し、内容理解をよりスムーズにしていきたい。自分の考えを書く際には、文字数の異なる方眼のワークシートを用意することで、児童が自分の表現したい内容に合わせて枠を選びながら、「とびだせ!!じゅういのおしごとびっくり!カード」を作成できるようにしていく。また、単元を通して、振り返りカードを使って学習を振り返る。それにより、前時までの自分の変化を捉えられるようにして、次時への課題意識をもたせ、学習を通して身に付けた力や自身の成長に気付けるようにする。

・学習計画を一緒に立てる

第3時では、第2時に抱いた問いを基に学習計画を児童と教師と一緒に立てる。それにより、児童が学習の見通しをもちやすくし、主体的に学べるようにしていきたい。本学級の児童にとって、児童と教師と一緒に学習計画を立てるのは初めての試みである。そのため、あらかじめ教師から、単元のゴールや第8～10時の学習計画を示し、そのために必要な第4～7時の学習計画を立てるようにする。今後、一緒に学習計画を立てていく際の基盤を養っていけるようにする。

(3) 学びを深めるための工夫

・対話を通じた考えの形成

本単元の学習の中で、適切な場面で対話する活動を設定する。本時では、筆者の仕事と自分の経験とを結びつけながら考えを書く場面がある。しかし、自分の経験を思い出すことに困難を抱く児童が多数いると予想されるため、自分の経験を振り返る際に、児童同士の対話を設定する。この話し合いでは、話し合いのテーマを記したお題カードを用いることで、考えを形成する上で、よりふさわしい自分の経験を思い出せるようにして、それぞれが対話を通して自分の考えをしっかりと形成していけるようにする。

・興味・関心を広げるための工夫

本単元では、動物園で働く獣医についての教材を扱っている。学校司書と連携し、生き物のお世話に関する関連図書を用意し、授業時間外でそれらの図書を自由に読書できる環境を作る。児童が興味のある図書を選んで読書することにより、獣医はもちろん、生き物に関わる仕事をしている人たちへの興味・関心をもたせていきたい。9月末の上野動物園への遠足でも、動物だけでなく、動物園で働く人々の様子にも注目できるようにしていき、さらには、10月に予定している生活科の「町たんけん」で、町で働く人々へと興味・関心を広げていきたい。また、単元の第0時では、動物園の獣医に関する動画を視聴させ、獣医という仕事のイメージをもたせるとともに、児童の関心を高められるようにする。

7. 単元の指導と評価の計画

時	目標◆・学習内容	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	
0 マ ス タ ー	◆本単元の教材と出会い、学習への意欲を高めることができる。				◎評価規準 <評価方法>
	・本単元の学習の後に、上野動物園に行くことを知り、動物園の中の様子や獣医の仕事について話し合う。 ・動物園の獣医に関する動画を視聴し、動物園の獣医の仕事についてのイメージをもつ。				
1	◆「どうぶつ園のじゅうい」の文章の構成や大体の内容を捉えることができる。				
	・「とび出せ!! じゅういのおしごとびっくり!カード」を書くことを知る。 ・「どうぶつ園のじゅうい」を読み、文章を並べ替えながら、文章の構成や大体の内容を捉える。		①		◎「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体をとらえている。 <記述>
2	◆「どうぶつ園のじゅうい」を読んで、筆者の仕事でいちばん気になったことを交流することができる。				
	・教科書 P132「といをもとう」を基に、筆者の仕事でいちばん気になったことを交流する。			①	◎教材文を読んでといを交流し、見通しをもって学習を進めていこうとしている。 <発言・記述>
3	◆「どうぶつ園のじゅうい」の学習の見通しを基に、学習計画を立てられる。				
	・教科書 P132-133の「がくしゅう」のページを見て、学習の計画を立てる。			②	◎単元の学習目標を理解し、達成に向けて学習計画を立てている。 <発言・観察>
4 5 6 7	◆筆者がしている仕事と、その理由や工夫を読み取ることができる。				
	・筆者の仕事について、書かれている順に整理してまとめる。	① ②			◎文の中における主語と述語の関係に気付いている。 <発言・記述>
マ ス タ ー	◆「とび出せ!! じゅういのおしごとびっくり!カード」の準備をし、次時への学習の意欲を高めることができる。				
	・「とび出せ!! じゅういのおしごとびっくり!カード」の準備をする。				◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報の関係について理解している。 <発言・記述>

8	◆動物園の獣医の1日の仕事を振り返って、毎日することと、この日だけしたことを考えることができる。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の1日の仕事を振り返り、毎日することとこの日にだけしたことは何かを考える。 ・筆者の仕事について、気づいたことや驚いたこと、もっと知りたいことなどを書く。 		①		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ◎「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体をとらえている。 <記述> </div>
マスター	◆「とび出せ!! じゅういのおしごとびっくり!カード」の飾り付けをし、次時への学習の意欲を高めることができる。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・「とび出せ!! じゅういのおしごとびっくり!カード」の飾り付けをする。 ・前時の活動が終わっていない児童は、この時間に終わらせる。 				
9 本 時	◆獣医の仕事について、自分の身の回りのことと比べて感じたことや考えたことを書くことができる。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の仕事のうち、同じ仕事を選んだ友達と、自分の経験と考えたことを話す。 ・「とび出せ!! じゅういのおしごとびっくり!カード」に、筆者の仕事の中で初めて知って驚いたことや「もっと知りたい。」と思ったことを、自分の身の回りと比較して、考えを書く。 		②		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ◎「読むこと」において、文章の内容と自分の経験とを結び付けて、感想をもっている。 <記述> </div>
マスター	◆「とび出せ!! じゅういのおしごとびっくり!カード」を完成させ、次時への学習の意欲を高めることができる。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・「とび出せ!! じゅういのおしごとびっくり!カード」を完成させる。 				
10	◆学習を振り返り、身につけた力を今後の学びに生かそうとすることができる。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・「とび出せ!! じゅういのおしごとびっくり!カード」を基にグループで、考えたことを伝え合う。 ・学習を振り返り、学んだことを、今後どのようなときに活用できるかを考える。 		③		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ◎進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、これまでの学習を生かして、文章を読んで考えたことを友達と話そうとしている。 <観察・発言> </div>

8. 本時の学習 (9/10)

(1) ねらい

獣医の仕事について、自分の身の回りのことと比べて感じたことや考えたことを書くことができる。

(2) 展開

時間	○主な学習活動	※指導上の留意点 ★評価 < >評価方法
2分	○前時の学習を振り返り、立てた学習計画から本時の学習内容を理解する。 ○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> じぶんの身の回りのこととくらべて考えたことをまとめよう。 </div>	※教師が作成した見本を提示したり、学習計画を確認させたりして、学習の目的意識をもたせる。
10分	○お題カードを使って、筆者の仕事と似たような自分の経験を友達と話す。 ・トリオになり、自分の経験と結び付けて考えたことを話し合う。 C1「私にもほんざるみたいに苦い薬を飲んだことがあるよ。みんなはどう？」 C2「僕にもほんざると同じで苦い味が嫌いだったから、ゼリーに入れてもらって薬を飲んだことがあるよ。」 C3「私は苦い薬は飲めるけど、弟が苦手で、お母さんが飲ませるのに苦労していたよ。獣医さんもきっと大変だったのかな。」	※各トリオに、話し合いのテーマを記したお題カードを配布し、そのお題に沿って話し合うようにする。 ※具体的なテーマを記したお題カードを用意することで、児童が目的に合わせて話し合えるようにする。
5分	○自分の経験が思い出せない人に向けて質問をし、経験を思い出せるようにする。 C4「僕はペンギンみたいに何かを飲み込んだことはないなあ。」 C5「飲み込んだことだけではなくて、危ない目にあったことはない？」 C4「それならあるよ。小さいころに高いところから飛び降りて骨折したことがあるよ。」 C6「そのときに、家族はどうしてくれたの？」 C4「すぐに救急車を呼んでくれたよ。」	※引き続き、お題カードを使ってもよいことを伝える。
5分	○自分の身の回りのことと比べて、筆者の仕事について考えたことを伝え合う。 C1「私は、にほんざるみたいに苦い味が苦手で、お母さんが薬を飲ませる工夫をしてくれたけど、飲めませんでした。お母さんも大変だったのかなと思いました。」	※伝え合う前に、個人で考える時間を与える。

20分	<p>○自分の身の回りのことと比べて、筆者の仕事について考えたことを「とび出せ!! じゅういのおしごとびっくりにカード」に書く。</p> <p>・終わった児童は、友達と読み合い、自分が伝えたいことがしっかりと伝わっているかどうかを確かめ合う。</p>	<p>※教師が作成した見本を提示し、児童が書くことのイメージをもてるようにする。</p> <p>※文字数の異なる方眼用紙を用意し、児童に選ばせることで、児童が主体的に取り組めるようにする。</p> <p>※書くことに悩んでいる児童には、引き続き質問カードを用いながら個別に対応する。</p> <p>★「読むこと」において、文章の内容と自分の経験とを結び付けて、感想をもっている。〈記述〉</p>
3分	○本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	